

情 報 公 開 文 書

| | |
|-------------------------------------|---|
| 研究の名称 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者における移動能力とリハビリテーション治療の経時的変化 |
| 整理番号 | |
| 研究機関の名称 | 富山大学附属病院 |
| 研究責任者 (所属・氏名) | 富山大学附属病院 リハビリテーション科 教授 服部憲明 |
| 研究の概要 | <p>【研究対象者】 2021年1月～2022年9月に当院に入院し、リハビリテーション治療を受けた慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 当院で入院治療を受けた CIDP 患者さんの移動能力について後方視的に検討し、移動能力の推移や、その予後に関わる因子を明らかにすること、CIDP 患者さんの入院中のリハビリテーション治療の方針を提案することを目的としています。</p> <p>CIDP 患者さんのリハビリテーション治療については、これまで詳細な指針が存在しません。本研究では、CIDP 患者さんの日常生活活動（ADL）特に移動能力の変遷について後方視的に検討します。これにより、リハビリテーション治療において、より適切な目標設定や訓練プログラムの立案が可能になると考えられ、リハビリテーション医学の発展にも寄与できます。</p> <p>【研究の方法】 対象は 2021 年 1 月～2022 年 9 月に当院に入院し、リハビリテーション治療を受けられた CIDP 患者さんです。臨床型、年齢、性別、罹患年数、筋力、深部感覚、主な移動方法、リハビリテーション治療内容などについて、診療録を元に後方視的に調査します。観察期間は、それぞれの患者さんにおける CIDP 発症から情報収集時（2023 年 1 月）です。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会、学術誌での公表</p> |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無) | 試料の採取は行いません。研究に用いる情報は電子カルテから以下の情報を、個人が特定できない形で抽出します（臨床型、年齢、性別、罹患年数、筋力、深部感覚、歩行能力、リハビリテーション治療内容等）。他機関への情報提供は行いません。 |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名 | 富山大学附属病院 病院長 林 篤志 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者、親族等関係者の希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知 |

| | |
|--------------------------------------|---|
| | <p>的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示します。</p> |
| <p>試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）</p> | <p>富山大学附属病院 リハビリテーション科 教授 服部憲明</p> |
| <p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p> | <p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-415-8841</p> <p>FAX 076-434-1463</p> <p>E-mail rehab@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学附属病院 リハビリテーション科 乙宗宏範</p> |